

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
13	井上 保（17）	<p>1. 新型コロナウイルス感染症の富士市財政に及ぼす影響への対応について</p> <p>人口減少・少子高齢化が進行し、社会保障関係経費が増大する一方、歳入が伸び悩み、さらには公共施設の老朽化も進み、地方自治体の財政は厳しさを増している。</p> <p>このような状況下、これまで経験したことのない感染症の拡大に見舞われ、市民の生命を守り、そして経済や雇用を守るため、様々な政策の実行が求められており、改めてそれを支える地方自治体の財政力が問われることとなっている。</p> <p>感染症の富士市財政に及ぼす影響にどのように対応していく考えか、以下質問する。</p> <p>(1) 新型コロナウイルス感染症の富士市財政への影響により、財政状況はどのように変化してくると考えているか。</p> <p>(2) 地方自治体として、地域の実情に合わせ、市民のニーズに応えた政策を確実に実行するための財政力を守っていかなくてはならない。</p> <p>では、富士市において新型コロナウイルス感染症の財政への影響にどのように対応していく考えか。</p> <p>財政健全化に向けたこれまでの取組の進捗状況も踏まえ、示されたい。</p> <p>① 歳出面</p> <p>これまでも経費の削減に向け、様々な取組が行われてきたが、その経過も踏まえ、今後の取組をどのように考えるか。</p> <p>② 歳入面</p> <p>ア 他の自治体においても広告収入、ネーミングライツなど歳入確保の取組が行われている。</p> <p>イ 富士市における検討の状況及び具体的取組について</p> <p>第五次富士市総合計画において「健全財政」実現に向けた施策の中で「財産の適正な管理及び有効活用」が掲げられている。</p> <p>その進捗状況及び今後の取組について</p>	市長 及び 担当部長